たましょうこ
玉小っ子
http://www. town. tamamura. ed. jp/tamamura-e/

令和元年度　玉村小学校
学校だより　第 21 号
2019年 9月17日発行

運動会練習に頑張って取り組んでいます

◇先週、台風が過ぎた後には秋の陽気が来るどころか、残暑が厳しい毎日でしたが、子ども達は頑張って練習に励んでいます。６年生達は表現の朝練も重ねています。表現とともに遊競技や徒競走などの練習も校庭で始まっています。前号に引き続き、練習の様子を紹介します。

「体育集会」入場行進初練習　11日

■11日の体育集会は、開会式での入場行進練習を初めて行いました。６年生から入場し、５４３２１年生へと続きます。朝の時間にもかかわらず台風が過ぎた後の暑さでしたが、みんな頑張って行進できました。初回と言うことで、歩くコースや曲がる場所の確認でしたが、本番さながらに、大きく腕を振って膝を高く上げて元気に歩く子ども達がたくさんいましたね。体育主任の小林先生からは、「行進を真剣に頑張れる子は他の競技も頑張れます」とお話がありました。とても大事なことですね。本番だけ頑張れば良いというのではないのです。本番も含めてそれまでの取り組んできた頑張りが大事なのです。毎年、玉小の子ども達の様々な演技や競技にはたくさんの賞賛をいただいています。今年も昨年以上となれば嬉しいです。そんな思いを胸にどの学年の子ども達も頑張っているのだと思います。今頑張っている子ども達にたくさんの励ましや応援をよろしくお願いいたします。

陸上記録会に向けて　放課後練習がスタート　12日～

◆10月16日(水)に実施予定の佐波郡の陸上記録会。改修工事が終了した華蔵寺の伊勢崎市民陸上競技場での実施となります。陸上記録会に向けて、初日の11日は雷雨のため中止となりましたが、12日から放課後練習が始まりました。練習への参加児童は、現在90人（6年52人5年38人）ですね。トラック競技の100m走、50m障害走、男子1000m、女子800m、4×100mリレー、フィールド競技のソフトボール投げ、走り高跳び、走り幅跳びの各種目から、自分が取り組む種目にエントリーします。約1ヶ月の放課後練習ですが、参加する高学年の皆さん頑張って下さい。

絆を胸に！ 君のそばには「力」がある！

運動会のスローガンが決まりました。玉小の子ども達みんなで出し合ったアイデアをまとめたものです。なかなか素晴らしいですね。仲間意識と団結力があふれ出ているスローガンですね。13日の児童集会で代表委員会の子ども達から発表されました。この思いを玉小全員で目指して頑張っていきましょう。発表の後には、入場行進と退場の練習をしました。練習を重ねるごとに上手になっていきますよ。

■□ 通級指導教室「中部要請訪問」研修 13日 □■

□玉村小学校の先生が、町の通級指導教室の指導を担当しています。年に一度の教員研修として、中部教育事務所の指導主事が訪問し、自立活動の指導を参観指導てもらいます。今回は、富沢先生と黒澤先生が丁寧な指導を公開しました。

「敬老の日」の由来って?、どんな祝日なの?

■16日は「敬老の日」でお休みでした。それぞれのご家庭では何か意識されたことはありましたか?最近では、２世代３世代で暮らしている家庭は少なく、身近にお年寄りがいなくなってきているかと思います。祝日の意味を考えてみることも大事かと…。ちょっとあれこれと調べてみました。

⇒国民の祝日として、正式に『敬老の日』が制定されたのは1966年(昭和44年)の"国民の祝日に関する法律"の改正から。「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」を祝日の趣旨としています。制定される以前も、9月15日はお年寄りを敬う日として敬老行事が行われていました。祝日改正法により2003年から9月の第3月曜日に日付が変更され、現在に至っています。

⇒「敬老の日」の由来は諸説あるようです。1947年に兵庫県旧多可郡野間谷村で行われた、敬老会と呼ばれる行事が発端であったと言われています。当時の村長が、「村の立て直しをするに当たり、経験豊富な老人に知恵を借りたい」と、農業の閑散期である9月中旬に地域の老人を集めて会を催したのです。毎年開催されるようになり、この行事が県内、全国に広まったと言われています。さらに、9月15日に敬老会を行うようになった説として、1つは、聖徳太子が悲田院を建てた日にちなんだ、という説。老人ホームや孤児院のような施設だったと言われ、敬老のお祝いにふさわしいとして選ばれたようです。2つ目は、717年9月に元正天皇が、野間村の滝を「養老の滝」と命名し、元号を改めたことに由来する説があるそうです。

■長く人生経験を積んできたお年寄りを敬うこととして大事な祝日なのですね。この日だけでなく、日頃からお年寄りのことを考えていくとも大切にしましょう。

こうちょうのひとりごと

■お詫び■養護教諭の荒木先生の代わりの先生がなかなか見つかりません。先週は大きな怪我や病気対応はありませんでしたが、今週来週と運動会練習が追い込み仕上げとなります。保健室の先生が不在なのは大変ですが、他の先生達で協力して対応しますので安心して下さい。町教育委員会も保健士さん対応も視野に入れて養護教諭を探してくれています。